令和8年度文京区アカデミー推進協議会
第3回分科会(スポーツ分野)概要記録

日　　時	令和8年9月14日(月)　18:30～20:00
会　　場	文京シビックセンター17階　福利健康会議室
出席委員	青木和浩委員◎、髙木いつ子委員、野村美奈委員、蜂谷伸治委員、 篠塚麻衣子委員、樋口晃委員、小木貢委員(座長◎)
欠席委員	脇弥恵子委員
事　務　局	吉本アカデミー推進課長、富沢スポーツ振興課長、小松スポーツ振興係長、 佐々木施設等担当主査、長施設等担当主査
資　　料	次第、資料第1号　スポーツ分野の施策（案）、資料第2号　文京区アカデミー推進計画の点検・評価について　資料第3号 令和7年度文京区アカデミー推進計画の点検・評価（案）
(議事) 1　議題 ○委員意見 ◆事務局説明	1．スポーツ分野の施策(案)について 分科会資料第1号に基づき、スポーツ分野の施策(案)について説明。 ○スポーツをする側は安全が一番気になる。施策として、より一層充実できるとよい。指導者へのハラスメント対策としての安全施策も検討できるとよい。 ○実態調査報告書で区内施設の利用希望は一定数ある。基本方針①イ「ICT(デジタル)を活用した情報提供の充実」で、利便性の向上に取り組んでほしい。 ◆利用者の選択肢が増やせるとよいと考えている。 ○こどもの体力低下について、よく耳にする。文京区は、単純に遊ぶ場所が限られるので、公園などの身近な場所で身体を動かすきっかけを充実したい。 ○スポーツの「継続」の視点が盛り込まれたのはよい。文化芸術分野と比較して、「こども」「若い世代」というワードが少なく感じる。 ◆スポーツ分野では、あらゆる世代がスポーツを通して、一人ひとりの楽しさ・健康増進、地域とのつながりづくりにつなげていけるとよいと考えている。 ◎世代ごとの課題という認識とあわせて、全体を包摂するインクルーシブという視点もある。 ○次期計画は誰に対して書いているかあらためて確認したい。計画は概要版

	も含め、区民が誰でも見ることができるのか。 ◆計画の5分野で文京区に関わる全ての方を対象にしたものである。現計画は区ホームページで見ることができる。 ○スポーツ分野は、課題が複雑で広範囲に及ぶと感じている。例えば、安全施策は大事だが、誰に向けた施策なのかが伝わりやすいとよいと感じた。 ○「取組の例」の書きぶりが気になった。例えば、10ページや12ページは施策と似たような表現に感じる。取組の例をもう少し具体的に示せるとよい。 ◎環境面での安全対策、指導者の安全対策は引き続き取り組んでいく必要がある。ご指摘のあった具体的な記載は、事務局に検討をお願いする。 2. アカデミー推進計画の点検・評価について 分科会資料第2号・第3号に基づき、令和7年度文京区アカデミー推進計画の点検・評価（案）について説明。 （1）分野別基本方針① だれもがスポーツを身近に感じる機会の拡充について ○区内で様々な活動があるが、年間のイベント一覧のようなものはあるのか。 ◆全て網羅されたものはない。区で募集する事業は区HPに集約されている。 ○「初心者向けスポーツ教室」や「ニュースポーツ教室・大会」で参加者数が100名以上減っているが原因は把握しているか。 ◆開催種目数の減が考えられる。参加者数の減少に対しては、引き続き普及啓発に努めていく。 ○「障害者スポーツ体験教室」の実績が大きく伸びている要因は何か。また、目標が低く設定されているのではないか。 ◆計画策定時に設定した目標であり、現状にあわせてさらに充実していきたいと考えている。次期計画では、目標値の変更を検討していく。 ○「障害者スポーツ」という表現はこれで統一されているのか。50ページではユニバーサルスポーツという記載もあり、どのような区別なのか疑問に思った。

	◎事業名設定時を引き継いでいるものもあると思うので、事務局に整理をお願いする。Bunkyo Sports Parkが盛り上がっている点は評価できる。 ○スポーツボランティアの登録者数はどのくらいか。 ◆76名の登録があり、延べ132名が様々な事業に参加している。今後も、事業ごとに適切な人数で募集していく。 (2)分野別基本方針② いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりについて ○指標はどのように設定されたのか。妥当性はどのように議論されたのか。 ◆現行計画の策定時に協議会、分科会で議論し設定している。 ○「スポーツ交流ひろばの充実」でプールの一般開放を増やせるのか。 ◆学校の協力が必須で、スポーツ振興課として働きかけていく。プール開放の実績は、区主催事業と青少年健全育成会等の主催事業を別集計している。 ○区は育成会と連携を強化していく方向性を検討してはどうか。 ◆育成会との連携体制はあるが、気候変動の影響もあり、冷房のない環境で今後どこまで拡大していくかは、検討の余地がある。 ○「スポーツ指導者の育成」の実績が減少している要因は把握しているか。 ◆開催回数に大きな変更はなく、周知に課題があると認識している。 ◎指標の減少要因は、事務局でしっかり検証していけるとよい。 (3)分野別基本方針③ スポーツの力を活用した地域づくりについて ○「スポーツ指導者地域派遣」の実績は大きく増加しているが、要因は把握しているか。誰をどう派遣したかも記載があるとわかりやすい。 ◆放課後全児童向け事業にスポーツ推進委員を派遣する機会が増えた。これらの追記など、修正を検討する。

	◎事業参加者の満足度は高い。また、多岐にわたる意見をいただいた。事務局で整理し、素案にも反映していってほしい。
2　閉会	